

第95回メーデー大会開催!!

連帯の力で平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる 新たなステージへ!
被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう!

今年で95回目となる労働者の祭典「メーデー大会」が4月27日(土)から5月1日(水)にかけて全国各地で開催された。あいにくの空模様であったものの、連合に集う各産別より多くの組合員が集結。昨今の急激な物価高が労働者に大きな影響を与えている状況や労働力不足の現状を踏まえ、賃上げや雇用確保等のこれまでの取り組みの重要性を各地であらためて共有し、さらなる意思統一を図った。



香川地区(高松)



香川地区(丸亀)



高知地区



愛媛地区



徳島地区



東京地区

「コラム」「メーデー」の始まり

メーデーは1886年5月1日、米国の労働者が「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自由な時間のために」とを求めてストライキに立ち上がったのが起源です。当時、米国の労働者は長時間労働と低賃金に苦しめられ、労働時間の短縮は切実な要求であったのです。これをきっかけに世界の労働者は5月1日を「国際的な団結の日」と定め、1890年5月1日、第1回国際メーデーが多くの国で開催されました。日本では1920年(大正9年)5月2日、第1回メーデーが東京・上野公園で開催。それ以降、毎年開催されてきました。しかし、軍国主義の高まりの中、1936年昭和11年の「2・26事件」を契機に、メーデーは全面禁止されました。第二次世界大戦後、メーデーは労働組合の復活とともに再開。労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久

平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきています。現在のメーデーは、米国の労働者が労働条件の改善を訴えたその想いを受け継ぎつつ、働く仲間とお互いをねぎらい、支え合いながら、家族や地域のみならず、みんなとして全国各所で開かれています。 ※連合「メーデー中央大会」リーフレットより抜粋

各地区集會に組合員が参加!

高松では、4月27日(土)に「サンポート高松多目的広場」にて香川県メーデー中央集會が開催され、池田香川県知事や大西高松市長、立憲民主党小川香川県連代表、国民民主党山本香川県連副代表をはじめ多くの来賓が出席するとともに、JR四国労働組合員を含む約600名が参集した。主催者を代表し挨拶に立った連合香川の福家会長は、冒頭で能登半島地震で被害に合われた方へのお見舞いのメッセージとともに、引き続きの支援を依頼した後、ロシアのウクライナ侵攻への懸念、政治の透明性についての課題感を示した。また、「メーデーの意義でもある働く仲間が連帯し、『働くことを軸とする安心社会』の推進に向け、賃上げ・春季生活闘争が重要である」とし、「本春闘においては、従来を上回る成果を獲得しており、これまでの取り組みに感謝申し上げ、新たなステージ転換に向けては、この流れを地場

の各会場においても、JR四国労働組合の組合員が参加し、働く仲間の生活改善を訴えた。

第8回本部執行委員会開催



4月13日(土)13時30分より、本部1階会議室にて第8回本部執行委員会を開催した。経過と議事は以下のとおり。

【経過報告】

- ・組織の強化・拡大(経営協議会)
- ・JR四国 事業計画、営業施策に関する付議について
- ・「ジエイアール四国パス」事業計画
- ・2024年春季生活闘争(新入社員)
- ・新規採用者加入行動(職場対話)
- ・高知地区集會(支部)
- ・徳島支部親子対話学習会(組織)
- ・退職者連絡会臨時総会(青女)
- ・本部青春春レク2024(財政)
- ・第1回組織財政専門委員会(JR連合)
- ・男女立等参画推進委員会
- ・グループ労組連絡会幹事会
- ・組織財政検討委員会
- ・JR連合ビジョン推進委員会

【議事】

- ①衆議院議員選挙及び西条市議会議員選挙における推薦候補者の推薦について
- ②新賃金、諸制度改善の妥結承認について
- ③第43回定期大会
- ④支部対抗ソフトボール大会の開催について
- ⑤JR連合青年・女性委員会「第28回ユースラリー」の開催について
- ⑥「東京地区集會」「大阪地区集會」について
- ⑦ユニオンスクール「特設コース」(管理者セミナー)の開催について
- ⑧「第18回ボウリング大会」の開催について
- ⑨当面するスケジュールについて

2024春季生活闘争 JR四国グループ労組妥結状況【5/9時点】

- JR四国ホテルズユニオン【3月6日妥結】
 - ・定期昇給の実施
 - ・ベア500円
 - (エキスパート社員は300円、パートナー社員は250円)
 - ・55歳到達者の本給減額の廃止
 - ・助勤手当の引き上げ
 - ジェイアール四国メンテナンス労組【3月18日妥結】
 - ・定期昇給の実施
 - ・ベア5%+1,000円
 - (指定研修社員は1,500円、嘱託社員は5.1%)
 - ・職務手当、技能手当の改定
 - 四万十ユニオン【3月18日妥結】
 - ・通勤手当見直し
 - JR四国ステーション開発労組【4月28日妥結】
 - ・定期昇給の実施
 - ・ベア5,800円
- ※各グループ単組が発行するニュースについては、「JR四国労組」ホームページ内「グループ労組業務情報」を参照。

職場対話行動2024を開催

JR四国労組は、4月8日(月)の高知支部を皮切りに「職場対話行動2024」を各地区において順次開催した。集会には、支部執行部に加え、本部からも大谷執行委員長をはじめ担当役員等が出席。2024春闘の結果等について本部より説明を行った後、参加した組合員から発言を受けた。集会で出された課題等の意見は集約・精査し、今後の団体交渉や経営協議会等を通じて引き続き反映させていく。



2024春闘の受け止めや職場課題について組合員の生の声を聞く(高知地区)

集会は、2024春闘交渉の結果や経営協議会で議論がなされた「2024年度事業計画」「効率化に関する施策」について本部より報告するとともに、職場における組合員の生の声を聞くことを目的に開催している。集会に参加した各組合員からは、今次春闘交渉におけるベア獲得及び定期昇給完全実施とあわせて、コロナ禍の労苦に報いるとして要求した一時金について喜びの声が挙がるとともに、物価高

が生活を苦しめていることから、期末手当に對し期待する意見が出た。加えて昨今続く離職の影響

を受けた業務量増加や要員不足に関する課題、より柔軟な働き方を求める意見などが寄せられた。本部はこれに對し、「ユニオンビジョン2023」を活用し、労働条件の改善に引き続き取り組むとともに、とりわけ賃金面については、現行の賃金改善の流れを継続し、「連続性」をもって着実に賃金水準を改善していく方向性を改めて示した。

職場対話行動は、組合員にJR四国労組運動を周知し、意思統一を図るうえでも重要な活動と位置づけ、今後も継続して取り組んでいく。各地での集会開催日程は以下の通り。

- ▽愛媛支部【松山】4月17日(水)
- ▽徳島支部【徳島】4月18日(木)
- ▽徳島支部【池田】4月19日(金)
- ▽香川支部【多度津】4月19日(金)
- ▽香川支部【高松】4月22日(月)
- ▽本社支部4月26日(金)
- ▽自動車支部(予定)5月16日(木)【松山】5月20日(月)【高松】

国土交通省への要請行動を実施

鉄道局



幅広い課題について実務担当者との意見交換を実施

JR連合は、4月22日(月)、交通重点政

策2023-2024)及び「補足版」に基づく国土交通省鉄道局への要請行動及びJR連合産業政策委員と鉄道局各課・室の実務担当者との意見交換を実施し、JR四国労組からは和田政策部長が出席した。意見交換では、冒頭、JR連合を代表して上村産業政策委員長から「昨今離職が続くなか、JR産業の魅力向上に取り組みべく、様々な観点から要請している」とりわけ、改正地域交通法の施行を受け、地域公共交通のあり方が注目を集めている。まちづくりの観点も踏まえて、前向きな議論ができるよう下支えをお願いする」と強く要請

した。要望書を受け取った鉄道局鈴木鉄道サービス政策室長は、物流に係る2024年問題やカーボンニュートラル・DX対応といった各要請項目に対する所感を述べるとともに、「改正地域交通法の狙いについて、関係者に趣旨をしっかりと周知する必要がある」と述べた。

その後、JR連合石川産業政策局長(JR四国労組より選出)をはじめ、出席者より上記の課題に加えて、「コスト増を速やかに反映させることのできる柔軟な運賃・料金設定の引き続きの検討」「JR会社間の連携強化の促進」「高速鉄道・新幹線ネットワークの

自動車局



魅力あるバス産業に向け、現場の実態を訴える!

また、4月17日(水)にはJR連合自動車連絡会が自動車局に對する要請行動と意見交換を実施。JR四国労組からは岩本自動車支部委員長が出席した。冒頭、JR連合を代表して矢田自動車連絡会代表幹事より「コロナ禍収束により人流が活性化し、収入も回復してきしたが未だコロナ

禍前の水準には及ばない。離職により人手不足は深刻な状況にあり、他産業より長い労働時間・低い賃金を改善し人財の確保・定着を図るべく、運賃制度の見直しや補助の拡充等をお願いする」と要請を強く訴えた。



愛媛支部(南予地区)



徳島支部(徳島地区)



香川支部(多度津地区)



本社支部

レ・サクルだより

松山運輸所分会 分会新年会を開催!



様々な職場、多様な年齢の組合員が参加したため、普段職場で話せていない人とのコミュニケーションを図ることができ、大変楽しい新年会となりました。今後は松山運輸所分会では、積極的に組合活動を行い、組合員間の親睦と団結強化を行い、様々な活動を企画し取り組んでいきたいと思えます。

香川支部

松山運輸所分会では、2月13日(土)16日にかけて松山市内で新年会を開催し、総勢124名もの参加がありました。今まではコロナ禍により大人数での懇親会が制限され組合員同士のコミュニケーションを図ることが非常に難しい状態でしたが、コロナが5類になり久しぶりに新年会を開催することができました。

松山運輸所分会 越智憲一郎 香川支部は支部主催のレクを4年ぶりに開催し、来賓の山本悟史香川県議会議長、本部・武智副執行委員長、中村書記長を含めて約60名が参加しました。数日前までは、あまり良くない天気予報でしたが、当日は天気も味方につけ強い日差しも雨も降ることなく、最高の天気となりました。お弁当はグループ会社のステーション開



第18回ボウリング大会の開催について

- ◆開催日 2024年6月22日(土) ※15:15に集合
- 大会 シーサイドボウル高松にて(15:30-17:15)
- 懇親会 とらべる亭にて(17:30-19:30)

◆対象者 各支部2チーム(1チーム4名以内)

※詳しくはJR四国労組発第75号参照
お申込は各支部まで!



JR四国労組青年女性会議 第32回定期委員会の開催について

- 日時 2024年7月20日(土)14時より
- 場所 ホテルアネシス瀬戸大橋
- 議題
 - 2023年度経過報告
 - 2024年度活動方針(案)
 - その他

香川支部 土井 俊哉